令和８年度 第３回加西市総合政策審議会

次　第

日時：令和８年８月２６日（水）午後２時～
場所：加西市民会館　３階　小ホール

開　会

１　会長あいさつ

２　議　事

・　第２回部会 外部評価（２次評価）の実施　※３部会での検討　　…　※評価資料一式

閉　会　※ 部会単位で解散とします

【次回開催予定】
令和８年度 第４回加西市総合政策審議会
日時：令和８年 10 月７日（水）１４:00～
場所：加西市役所　５階　大会議室

令和８年度 第３回加西市総合政策審議会　出席者名簿

■審議会委員

氏　　名	団　体　名	役　職	備　考
荒木　努	加西空き家相談室	代表	
荒瀬　未知也	加西市連合PTA	会長	
梅野　玲子	NPO法人加西市国際交流協会	事業コーディネーター	
王子　英俊	加西市区長会	下里地区代表区長	
小川　仁郎	加西市シニアクラブ連合会	会長	
川嶋　瑠美	北条ならの実こども園PTA	会長	
高橋　伸弥	加西商工会議所青年部	会長	
田中　脩平	北条金融協会	会長	
谷勝　公代	加西市くらしと生活を守る会	会長	（欠席）
中野　重美	加西市スポーツ推進委員会	副委員長	
濱本　泰秀	加西商工会議所	会頭	
樋口　真史	加西市労働者福祉協議会	事務局長	
蓬莱　眞子	加西市農村女性組織連絡協議会	会員	（欠席）
和田　真理子	兵庫県立大学　国際商経学部	准教授	

（計14名　敬称略　五十音順）

■市担当者（説明員）

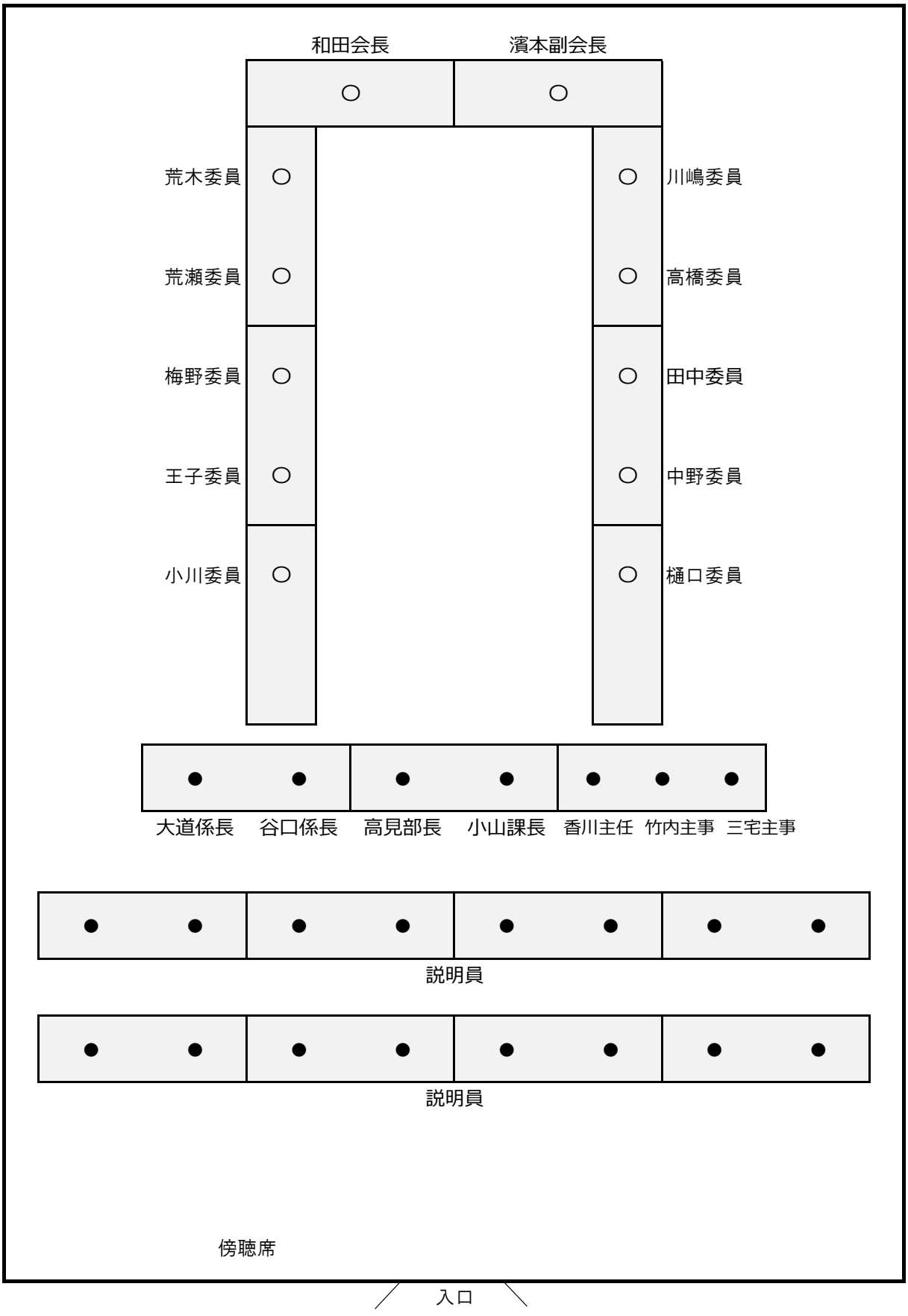
氏　　名	所　属　・　役　職　名
丸山　常基	地域部長
民輪　清志	総務部長
別府　克紀	市民部長
下山　晴一郎	福祉部長
藤後　靖	産業部長
石野　隆範	建設部長
藤本　浩明	環境部長
伊藤　勝	教育部長
山岡　和宏	政策部情報課長
高見　和哉	地域部観光課長
是常　耕三	市民部収納課長
藤後　麻里	市民部国保医療課長
阿部　亜希子	福祉部子育て支援課長
竹内　里佳	福祉部健康課長
千石　忠正	産業部産業課長
北島　悦乃	教育委員会生涯学習課

■事務局

氏　　名	所　属　・　役　職　名
高見　昭紀	政策部長
小山　健一	政策部政策課長
谷口　成俊	政策部政策課 政策係長
大道　行雄	政策部政策課 地域創生係長
香川　理宇	政策部政策課 主任
竹内　宏太	政策部政策課 主任
三宅　里彩	政策部政策課 主事

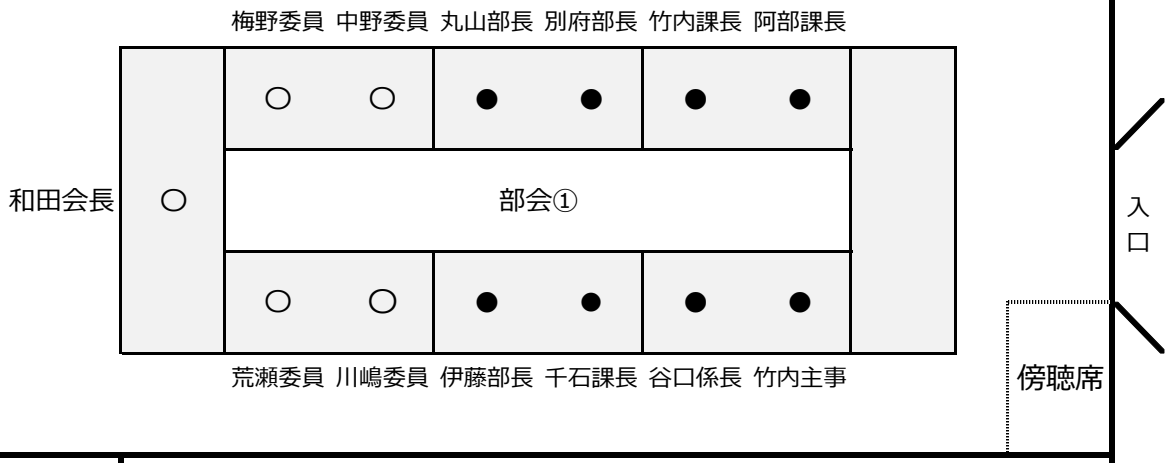
令和８年度 第３回加西市総合政策審議会　配席図

（加西市民会館　３階　小ホール）

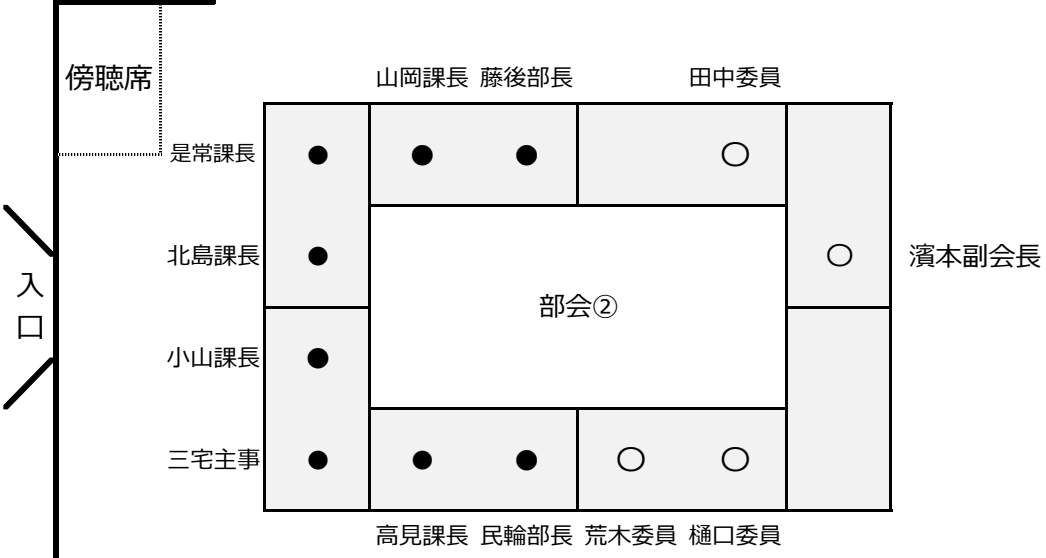


令和８年度 第３回加西市総合政策審議会　**部会**配席図（加西市民会館３F）

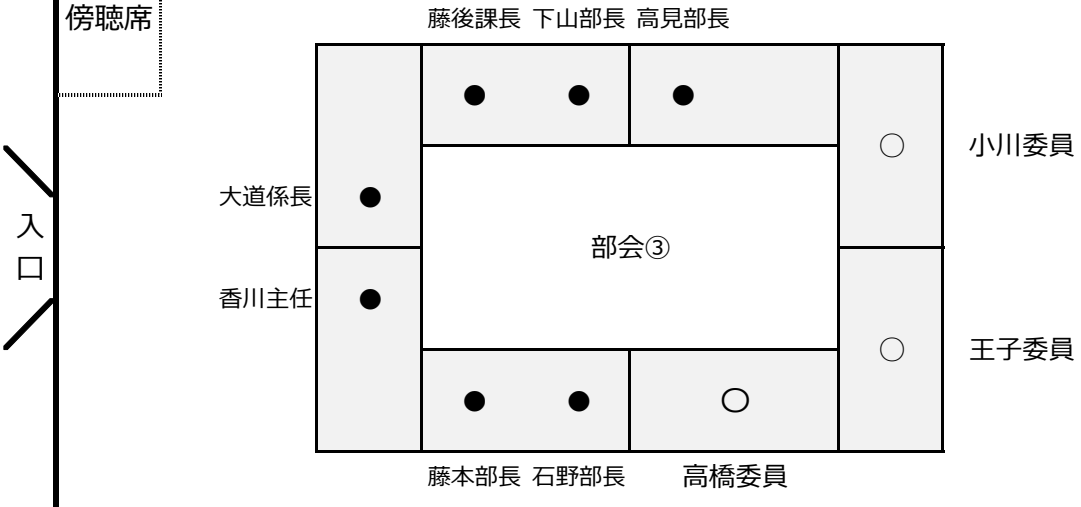
第1部会　（小ホール）



第２部会　（談話室）



第３部会　（研修室）　※部会長の谷勝委員が欠席につき事務局で進行させていただきます



R8年8月26日時点資料
（第2回審議会　評価反映分）

第６次加西市総合計画（実施計画）
政策評価シート

担当部会１

基本方針・政策・施策

基本方針	１　子育てを応援し、暮らしを愉しむ
政策	１　新しい家族と出会い、育むための支援の充実
施策	①　結婚・妊娠・出産支援の充実 ②　地域ぐるみの子育て支援の推進 ③　子育て環境の充実

未来の加西の姿

家族や子どもを持ちたい希望に対し、切れ目ない支援で叶えられるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（１次評価）	審議会による外部評価（２次評価）
① (ア～ウ) 評価シート 1~4	■出逢いサポートセンター事業 オンラインでの情報交換環境を整備し、近隣地域外からの参加者を増加させるイベントを実施した。カップル成立組数（19組）目標下回っており、出会いの場の提供やマッチングにおいて課題が残る。 ■こども家庭センターでの相談支援事業 伴走型相談支援の継続や妊婦健診の費用助成の増額を行った。妊娠中の相談支援率は98%を維持し、電子母子手帳の登録者数も914件と目標を上回った。令和7年度からは5歳児健診を開始し、関係機関と連携する支援体制を強化した。 ■産後ケア事業 県集合契約方式への参入により、産婦の希望に応じて医療機関を選択できる体制が整い、利用実人数も前年の54人から66人に増加した。支援を要する母児への支援が充実した。	
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価
② (ア～エ) 評価シート 5~12	■子育て世帯への負担軽減 「子育て応援5つの無料化」を継続実施し、子育て世帯の負担軽減を図った。学童保育園では高学年に待機児童が生じたため、支援員の確保や令和8年度に向けた新たな施設整備を進め、受け皿の充実に努めた。 ■子育て応援プロモーション Instagramの運用や市内事業所等へのパンフレット配布を通じ、子育て応援施策や定住のPR活動を実施した。しかし、フォロワー数が目標数値を下回っており、加西市の認知度向上や転入促進・転出抑制に向けた、さらなる発信力の強化が課題である。	
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価
③ (ア～ウ) 評価シート 13~15	■療育事業と障がい児保育の充実 未就園児の子育て相談や療育、園への訪問相談など、専門的立場からの支援を市直営で実施した。私立園での障がい児保育事業への支援や、保育教諭の就労支援一時金の支給等を通じて、受け入れ体制の維持・強化に努めた。 ■アスもの運営 近隣の競合施設開設により、利用者数は40,059人（達成度74.2%）と前年から減少した。SNS広報の強化や各種イベント開催、スタッフ研修に努めたが、今後はニーズを的確に掘り起こして効果的にアプローチし、さらなる利用者の増加と親しまれる施設運営を図ることが課題である。	
	総合評価　C…目標をやや下回って達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
合計特殊出生率	目標		—	—	—	—	1.83	人	単年
	実績	1.28	0.91	1.11	1.12	1.05	1.16		
	達成度		50%	61%	61%	57%	63%		
※15～49歳までの日本人女性の年齢別出生率を合計したもの									
	目標								
	実績								
	達成度								

担当部会１

基本方針・政策・施策

基本方針	１　子育てを応援し、暮らしを愉しむ
政策	２　子どもの教育の充実
施策	④　教育の質の向上 ⑤　教育環境の充実 ⑥　地域で子どもを守り、育てる仕組みの充実

未来の加西の姿

自ら学び行動する能力を身につけ、子どもの可能性を広げられるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（１次評価）	審議会による外部評価（２次評価）
④ (ア～エ) 評価シート 16~19	■アドバイザーの活用と部活動指導員の充実 外国語教育や特別支援教育アドバイザー、ALTへの指導・研修を充実させ、各学校での教育全般の質向上や充実した学校訪問に繋げた。またイングリッシュミーツにおける研修展開や、部活動指導員の有効活用により特色ある学習活動に取り組むことができた。 ■北条高校・播磨農業高校への支援 北条高校へのアフタースクールゼミ、国内留学研修、海外研修等の支援を行い、学力向上を図った。しかしアフタースクールゼミの受講者率は18%と低迷しており、受講率向上が課題である。 ■ICT活用による教育の推進 朝の学習等でICTを活用した学習時間を増やすとともに、ICT支援員と連携しドリルを刷新し、デジタルとアナログの融合で授業改善を図った。	■外国語教育充実事業 英語学習について、イングリッシュミーツやオーストラリア留学を通じて、充実が図られていることは評価する。一方で、市内にはベトナム人住民が多く英語話者が少ない現状を踏まえ、より身近な言語や文化を学べる機会の検討を求める。また、市内に在留する外国人が自国の文化等を自発的に発信できるよう、機会の創出に努められたい。 ■外国児童への日本語指導体制の強化 北条小学校においてベトナム人児童向けの日本語指導が実施されているが、指導員の配置状況等により他校への展開が困難な場合は、学校間が連携した合同学習の機会を設けてはどうか。 ■児童・生徒用PCの使用率の目標設定 KPI目標値を令和7年度の100%とされており、バランスよく使うことが大事である。タブレットを使って宿題をやっている児童は楽しくやっている印象であるが、漢字や板書など一定、紙に書くということも必要である。
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価　B…ほぼ目標を達成
⑤ (ア～イ) 評価シート 20~22	■教育施設環境整備・学校再編の推進 中学校体育館の空調設備整備や小中学校の屋外トイレ洋式化を進め、快適な学習環境の整備を図った。また、統合小中学校の開校に向け、準備委員会を通じてスクールバスの運行や校章の決定など必要な協議を計画的に進めた。 ■総合教育会議の運営 小中学校の再編や学校施設の跡地活用について協議を行った。特に統合泉小学校では新1年生が1学級となる見込みであり、「多様な人との関わり」に課題が生じるため、地元団体等の意見も踏まえ、今後、人口増施策や地域維持・活性化する跡地活用を検討する。	■教育施設環境の整備 泉小学校体育館の空調整備により暑い時期も安心して活動出来る環境が整った。今後、他校へも順次設置を進めていただくよう期待する。 ■スクールバス停留所と通学路の安全確保 西野々町・池上町周辺等の通学時間帯において、交通量や車両速度による児童の車道横断時に危険を感じる。「通学路（スピード減速）」等の標識の設置等、ドライバーへの啓発と安全対策を求める。 ■スクールバスの運行・熱中症対策 スクールバスの乗降時のカード読み取り機の反応が悪い時があり、学校の朝の会の時間に間に合わなかったことがある。また、通学距離2km未満の児童へに配布されている冷却ジェルパッドの破損や漏れが、複数件あり、耐久性の確認や、運用の見直しを検討いただきたい。
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価　B…ほぼ目標を達成
⑥ (ア～ウ) 評価シート 23~25	■児童生徒の相談・支援体制の充実 全中学校に校内フリースクール、4小学校に校内サポートルームを設置した。スクールソーシャルワーカーによる面談・家庭訪問の回数も増え、小学校の不登校生が減少するなど、児童生徒や保護者の悩みに寄り添った支援が充実した。 ■地域とともにある学校づくりの推進 土曜チャレンジ学習事業を39教室で実施し、988名の児童が参加した。また、オープンスクールや万博見学事業等の体験学習を通じ、学校運営協議会や地域ボランティアと連携した「地域から信頼される学校づくり」を推進した。	■児童生徒の相談・支援体制の充実 不登校生の中には、フリースクールにも通えない子どももおり、定期的は家庭訪問等を継続的に実施し、児童生徒や保護者の悩みに寄り添った支援を継続いただきたい。また、学校以外にも不登校生が通える場を用意されており、継続実施いただきたい。 ■地域とともにある学校づくりの推進 自己評価では「A」とされているが、KPI達成率は約100%（指標基準上は「Ｂ」に該当）、昨年度の取り組み内容や参加者数も同水準であることから、実績維持の範囲内と判断し、評価を「Ｂ」に変更する。
	総合評価　A…目標を大きく上回って達成	総合評価　B…ほぼ目標を達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
全国学力・学習状況調査において全国平均点を上回った教科数	目標		—	—	—	—	3	教科	単年
	実績	1	3	1	0	0	2		
	達成度		100%	33%	0%	0%	67%		
※全国学力・学習状況調査による小学生（国語・算数）、中学生（国語・数学）の4 教科のうち、全国平均点を上回った教科数									
児童・生徒用PC の使用率	目標		—	—	—	—	100	%	単年
	実績	0	49.29	49.9	48.9	51.1	60.0		
	達成度		49.3%	49.9%	48.9%	51.1%	60.0%		
※ 1 年間に個人用PC を使用した延児童・生徒数÷（5/1 現在の児童・生徒数×登校日数）									

担当部会１

基本方針・政策・施策

基本方針	１　子育てを応援し、暮らしを愉しむ
政策	３　生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり
施策	⑦　生涯学習の充実 ⑧　芸術・スポーツの振興 ⑨　健康増進の推進

未来の加西の姿

生涯、学びやスポーツを楽しみ、日常生活やまちづくりに活かせるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（１次評価）	審議会による外部評価（２次評価）
⑦ (ア～イ) 評価シート 26~27	■公民館講座・市民教養講座の開催 通年開催の連続講座や地域への出前講座を21登録グループが72回実施した。今後も幅広い世代に向けた講座開催に努める。市民教養講座では、また、民間事業者と連携し移動型スマホ教室を商業施設や病院等で実施することで、市民が参加しやすい環境を整えた。 ■図書館の活性化と利用促進 柳田國男に関する講演会や夏休み書道教室などの新規催しを展開した。「スマート登録」や電子図書館の周知に努めたが、コープ撤退による館全体の来館者減少が響き、来館者数・利用者数ともに前年を下回った。利用者を呼び戻すためのさらなる活性化策の工夫が必要である。	
	総合評価　C…目標をやや下回って達成	総合評価
⑧ (ア～エ) 評価シート 28~32	■スポーツ振興 ジュニア育成やプロ観戦促進に加え、広域連携によるスポーツ教室を展開し、参加機会を拡大した。ニュースポーツ等を通じて多世代交流を創出し、スポーツ教室開催数のKPI達成度では150%と高い成果を示した。今後は高齢者・障がい者向けプログラムの充実と周知強化が課題となる。 ■文化芸術の推進・次代へつなぐ伝統文化継承 文化祭や街角コンサート、イオンでのミニライブなど発表を開催し、市民の芸術文化へ気軽に接する機会を創出した。文化連盟事業には313人の参加があった。	
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価
⑨ (ア～エ) 評価シート 33~38	■自殺対策とこころの健康相談 精神保健福祉士等による相談支援を継続し、自殺予防週間に合わせた啓発活動で市民への周知を進めた。ゲートキーパー研修には114名が参加し、地域の見守り力向上に寄与した。 ■運動ポイント事業 ポイント設定見直しにより一部参加者のモチベーション低下が確認された。事業内容では、図書館と連携した、ポイントキャンペーンなど事業充実を図った。運動教室の新規利用者は20人に留まり、受講証保有者数も減少した。 ■がん検診・特定検診の勧奨 がん検診の無料クーポン配布や乳がん・子宮頸がんの受診勧奨を継続的に実施。特定検診では、みなし健診を実施したことで受診率が伸びたが、県目標値を下回っており、引き続き受診勧奨を行う。	
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
加西市立図書館の来館者数	目標		—	—	—	—	22	万人	単年
	実績	21	17.4	17.6	19.2	19.3	18.6		
	達成度		79%	80%	87%	88%	85%		
※公共図書館調査による年間来館者数									
文化・スポーツ活動の参加者数	目標		—	—	—	—	270	千人	単年
	実績	188	141	171	168	174	183		
	達成度		52.2%	63.3%	62.2%	64.4%	67.8%		
※体育施設・市民会館・公民館の年間利用者									

担当部会3

基本方針・政策・施策

基本方針	1　子育てを応援し、暮らしを愉しむ
政策	4　くらしを支える福祉・医療の充実
施策	⑩　高齢者福祉の推進 ⑪　障がい福祉・地域福祉の充実 ⑫　保健・医療体制の確保

未来の加西の姿

市民が生涯にわたって、健康で自分らしく暮らすことのできるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（１次評価）	審議会による外部評価（２次評価）
⑩ (ア～イ) 評価シート 39~41	■高齢者支援の充実 配食事業は事業者の選択肢拡大により利用件数が減少した。補聴器補助は認知度が高まり、申請者が増加している。また、R7年度より定期接種化した帯状疱疹ワクチンについて対象者へ個別通知を行い、接種率23.8%となった。新型コロナワクチンの接種については、大きな流行がなかったことと、自己負担が増額となったことから低調であった。 ■高齢者の地域活動の推進 シルバー人材センターは会員が15人増加した。高齢者サロン等の通いの場づくり事業補助件数も増加しており、今後も活発な地域活動の推進に努める。	
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価
⑪ (ア～ウ) 評価シート 42~44	■地域福祉活動の活発化と「集いの広場」 各町で展開される「いきいきサロン」等の地域福祉活動事業の実施数は1,117回と前年を超えて増加傾向にある。また、社会福祉協議会の支援を伴わない自治会独自の少人数での交流（集いの広場）も活発化しており、住民同士の身近なつながり作りが着実に進んでいる。 ■生活困窮者及び子どもの学習支援 個人の状況に応じた就労先の支援により、65歳以下を中心に就労機会の確保が進み、前年度より就職者が増加した。子どもの学習支援事業では専門事業者への委託により週1回の学習支援を実施し、低所得による学習格差の是正や不登校・ひきこもり児童の居場所づくりに寄与した。	
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価
⑫ (ア～イ) 評価シート 45~48	■新病院建設に向けた設計業務の着手 新病院の建設に向け、前年度からの造成工事設計業務に加え、7月より建築工事設計業務に着手した。基本構想・基本計画を基に、基幹病院とのさらなる連携や初期救急の継続、回復期・健診室の拡充など、将来的な医療需要と市民ニーズを反映した基本設計を計画的に進めている。 ■紹介率の向上と地域医療連携の強化 地域医療室を中心に、周辺の医療機関や各種福祉施設への渉外活動を積極的に強化し、病院の機能や強みのアピールに努めた。この取り組みにより、紹介率は前年度を上回る実績（49.0%）を記録したものの、目標値（50.0%）にはわずかに届かなかったため、今後もさらなる連携強化を図る。	
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
要介護認定率	目標		—	—	—	—	21.2	%	単年 減少指標
	実績	20.3	19.4	19.2	19.2	19.4	19.6		
	達成度		108.5%	109.4%	109.4%	108.5%	107.5%		
※認定者数（第1 号）÷第1 号被保険者数									
市立加西病院への紹介率	目標		—	—	—	—	50	%	単年
	実績	44	43	33	40	44	49		
	達成度		86.0%	66.0%	80.0%	88.0%	98.0%		
※受診患者のうち、他の医療機関から紹介されて来院した患者の割合									

基本方針・政策・施策

担当部会２

基本方針	２　活力とにぎわいのあるまちを育む
政策	５　農業の再生と活性化
施策	⑬　農業従事者の確保と育成 ⑭　農業経営の支援 ⑮　農業環境の充実

未来の加西の姿

加西の特産品を生産する喜び、やりがいのある農業が展開されるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（１次評価）	審議会による外部評価（２次評価）
⑬ (ア～イ) 評価シート 49～50	■農業振興の基盤強化 加西ブランド協議会ではSNS戦略としてInstagram運用を開始し、情報発信力を強化した。農産物連携では北播磨地域をはじめ各種研修会を開催や商品開発を進め、地域資源を活かした取組を推進した。認定農業者への経営指導も行い、農業振興の基盤強化に寄与した。 ■農業従事者の確保 新たに4名を認定し、認定期間中の新規就農者14名に対し、各種補助制度を活用し、経営・施設整備を支援した。研修生6名を受け入れ、うち2名は補助制度を活用するなど育成体制を充実。就農相談会への参加によりPRも強化され、新規就農促進に向けた取組が進展した。	■農業振興の基盤強化 KPIに設定している「かさい農業塾」について、新たに開催しておらず、既存の農業組織が個別で行っている研修会を「代替開催」としてカウントしているのであれば、KPIの開催数は0とする方が適切であり、次世代の担い手育成に向けた市独自の企画・工夫を求める。 ■農業従事者の確保 次代の農業を支えるには、法人化への移行がこれからの時代の流れであるため、法人化に関する数値目標を設定するなど、行政として推進する方向へ検討いただきたい。
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価　B…ほぼ目標を達成
⑭ (ア～ウ) 評価シート 51～53	■農地集積・スマート農機導入 農地中間管理事業により1集落で13.7haを追加集積し、規模拡大を促進した。高機能農機やスマート農機への補助も計20件実施し、担い手の経営効率化と生産基盤の強化に寄与した。 ■加西ぶどうの産地化推進・直売所の売上拡大 ぶどう棚の新設・改修を補助し産地維持を図るとともに、「シャインマスカット」や「ブラックビート」、「BKシードレス」などの導入を推進し、農業者の生産意欲向上と所得安定を図った。また、直売所の売上は308,700千円と目標を大きく上回った。 ■地産地消の推進 生産者及びJAの協力により学校給食に多くの農産物が提供された。播磨農業高校や市内認定農業者が実証栽培した有機米の給食提供について調整を進めた。	■農地集積 高齢化が進む中で、集落営農組織への補助金による延命措置は、将来的な農地集約の機会を奪う懸念があるため、大規模な専業農家や法人への支援へ切り替えるとともに、外部企業等へのアウトソーシングを含めた新たなモデル構築を期待する。 ■農作物のブランディング 品物はよくてもブランドイメージが確立していないため、パッケージ戦略も含めて価値を高める努力が必要である。 ■地産地消の推進 物価高騰のあおりで給食の食材調達が厳しい状況にあるが、主食のお米は加西市産のものが提供できているため、地元食材の価値を実感させるような、対比を用いた食育の取り組みの提案があった。
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価　B…ほぼ目標を達成
⑮ (ア～ウ) 評価シート 54～56	■ICT技術の導入と施設園芸の支援 花き園芸の設備導入を補助し、集落営農や土地利用型農業者へ高機能農機の導入支援を実施した。ICT等導入は8経営体と目標を上回り、省力化と生産性向上が進展した。 ■環境保全型・循環型農業の推進 環境保全型農業交付金により堆肥散布や緑肥など支援し、循環型農業の取組みも増加した。Jクレジット参加を推進し、環境負荷低減と持続可能な農業の実践を後押しした。 ■農地保全・鳥獣被害対策 多面的機能支払で109組織が農地保全や排水路補修を実施し、ため池改修も進展した。鳥獣対策では捕獲と併せて金網柵・電気柵を整備し、スクミリンゴガイ対策として薬剤補助を継続実施した。	■スマート農業 ICT等を導入した件数をKPIに設定しているが、導入した結果、「農作業時間が何割削減されたか」「生産量が何%上がったか」など、目標にある「省力・高品質生産」の目的が達成されたかが測れるよう、その数値や状況などの視点を踏まえた報告を求める。 ■循環型農業 川の土手などで草刈りをした「刈り草」を畑で堆肥にして使うような地域の小さな取組に対しても、行政によるPRや支援体制を考慮に入れてはどうか。 ■鳥獣被害対策 防護柵については、新設の需要だけでなく、過去に設置した防護柵の更新要望への対応にも留意いただきたい。
	総合評価　A…目標を大きく上回って達成	総合評価　A…目標を大きく上回って達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
担い手への集積面積	目標		—	—	—	—	1,400	ha	単年
	実績	1,215	1,255	1,255	1,256	1,258	1,286		
	達成度		89.6%	89.6%	89.7%	90%	92%		
※認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織が集積している農地の合計面積									
農地の活用率	目標		—	—	—	—	91	%	単年
	実績	89	87	87	87	88	88		
	達成度		95.6%	95.6%	95.6%	96.7%	96.9%		
※作付面積÷農地面積									

基本方針・政策・施策

担当部会２

基本方針	２　活力とにぎわいのあるまちを育む
政策	６　商工業の振興と新展開
施策	⑯　商工業の振興 ⑰　創業支援と働く場の拡大 ⑱　雇用・勤労者福祉の充実

未来の加西の姿

商工業の振興により地域経済を活性化し、働きたいと思われるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（１次評価）	審議会による外部評価（２次評価）
⑯ (ア～ウ) 評価シート 57~60	■産業振興、デジタル化 HPやチラシで周知し、市内事業者のITツール導入を後押しした。小規模事業者の販路開拓や生産性向上の取組みに対して支援した。 ■地域通貨「ねっぴ～Pay」による消費喚起 ポイント還元キャンペーンで市内消費を促進し、地域経済の活性化に寄与した。日常利用の拡大とユーザー層の拡充により流通量増加を図る。 ■区域区分廃止後の立地促進・商業誘致促進 域区分廃止の説明会後、民泊許可や店舗移転、起業相談が寄せられ、事業者の動きが活発化した。R8年4月の線引き廃止に向け、地域拠点形成地区を各小学校区に設定し、商業立地の可能性を拡大した。さらにメディカルタウン構想等の実現に向けて複数事業者と意見交換を進めた。	■企業のデジタル化支援 ICTの整備にとどまらず、AIの活用など企業の生産効率化に直結する分野への支援を強化できるよう検討いただきたい。 ■地域通貨の普及 市主導のキャンペーン時だけでなく、決済手数料の安さという店舗側のメリットを活かし、店舗独自のポイント上乗せなど主体的な優遇アクションの働きかけや、高齢者層以外にも日常使いが広がるよう、チャージ方法の利便性向上に向けた工夫を求める。 ■商業施設の誘致 区域区分の廃止による規制緩和を活かし、大型店舗等の誘致交渉について、立地等の着実に目に見える成果へと結びつけていただくよう期待する。
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価　B…ほぼ目標を達成
⑰ (ア～エ) 評価シート 61~65	■創業支援・事業承継 創業塾やワンストップ窓口で相談支援を行い、北播磨圏域でのセミナー開催により創業・事業承継の機運醸成を図った。フォローアップも継続し、起業希望者の支援体制が強化された。 ■起業機運醸成・支援体制 ビジネスプランコンテスト後の定期的なフォローにより創業意欲を維持し、創業塾や窓口相談で具体的支援を実施した。事業承継では県センターと連携し、啓発セミナーを通じて理解促進を図った。 ■産業団地整備・企業誘致 市街化調整区域での産業団地整備に向け地区計画を決定し、1期では造成完了や操業開始が進展した。2期では開発同意を取得し、複数企業と誘致交渉を進めるなど、企業立地の具体化が進んだ。	■産業団地整備・企業誘致 地区計画の指定件数や指定面積は、近隣自治体と比較しても良い実績である点や、企業誘致が順調に進んでいる点を高く評価する。
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価
⑱ (ア～ウ) 評価シート 66~68	■就職情報発信・雇用促進 就職情報NAVIを刷新し検索性を向上させたほか、JOBフェアや対面相談で市内雇用を促進した。情報提供体制の強化により求職者支援が進展した。 ■高校生支援・就労サポート 労働局と連携し求職者支援を進めるとともに、高校生向け企業見学会の準備を進めた。福祉部署との連携により就労に向けたサポートを実施した。 ■移住者支援・地元企業理解促進 移住希望者の起業相談を受け付けるほか、小学生向け企業訪問ツアーを実施し、地元企業への理解促進を図った。労働局との協定のもと就職支援も継続した。	
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
製造品出荷額	目標		—	—	—	—	3,900	億円	単年
	実績	3,321	3,213	2,480	3,115	3,125	3,113		
	達成度		82%	64%	80%	80%	80%		
※工業統計調査（2020年調査で終了し、2020年以降「経済構造実態調査」）・経済センサス活動調査									
	目標								
	実績								
	達成度								

担当部会２

基本方針・政策・施策

基本方針	２　活力とにぎわいのあるまちを育む
政策	７　地域資源の活用と人の流れの創出
施策	⑲　歴史・文化の再発見と交流拡大 ⑳　移住・定住の支援 ㉑　空き家・空き店舗の利活用

未来の加西の姿

地域資源を十分に活かし、加西市に訪れたいと感じる魅力あるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（１次評価）	審議会による外部評価（２次評価）
⑲ (ア～ウ) 評価シート 69~72	■鶉野飛行場跡の誘客促進 看板設置や防空壕映像の刷新により魅力発信を強化し、戦後80周年も相まって来訪者は約16万人へ大幅増となった。歴史資源を活かした誘客が着実に進展した。 ■体験型観光 気球体験やサイクルイベント、学生ガイド育成、飲食店スタンプラリーを実施し、多様な体験を通じて市内周遊とPRを促進した。 ■旧市街地エリアの活性化 まちなか再生エリアプラットフォームで、まちバルや空き家再生のエリアマネジメント研修を支援し、空き家・空き店舗活用を担う人材育成を進め、次年度以降の事業化に向けて準備を進めた。	
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価
⑳ (ア～ウ) 評価シート 73~76	■UJIターン促進補助金の制度改正 年齢制限の新設と所得制限廃止により若年層を明確にターゲットにした上で、就職から結婚にいたる生活基盤の安定期を切れ目なく支援する体制を整えた。移住施策の一体的PRで利用拡大を図った。 ■定住促進支援 若者世帯持家促進補助は外国人利用が増加し、事業者連携により制度活用が広がった。家賃補助利用者への周知強化で持家取得への移行を促し、定住促進を進めた。 ■移住相談体制の変更 中間支援組織への委託終了後、市直営窓口を開設し相談体制を維持した。相談件数は減少したものの目標を上回り、移住支援の基盤を確保した。	
	総合評価　C…目標をやや下回って達成	総合評価
㉑ (ア～ウ) 評価シート 77~80	●空き家バンク運用・利活用支援 空き家バンクの情報発信を継続し、新規登録は高水準を維持した。成約21件、家財処分支援14件と利活用が進展し、相談室との連携による定期相談会で支援体制を強化を図った。 ●空き家対策計画に基づく管理・除却支援の評価検証 空き家対策計画に沿って多様な相談に対応し、関係部署と連携して適正管理を促進した。危険空家の除却補助を実施し、クラッソーネとの協定で除却推進体制を強化した。空き家登録バンクの登録件数は微減も成約は増加し、改修補助は目標を上回る成果となった。	
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
観光入込客数	目標		—	—	—	—	1,100	千人	単年
	実績	914	954	1,205	1,162	1,136	1,158		
	達成度		87%	110%	106%	103%	105%		
※加西SA 利用者数は除く年間客数									
若者の残存定住率	目標		—	—	—	—	80	%	単年
	実績	78	80	83	83	80	81		
	達成度		100.0%	103.8%	103.8%	100.0%	101.3%		
※ 3 月31 日現在の26-28 歳の人数÷ 10 年前の16-18 歳の人数									

基本方針・政策・施策

担当部会３

基本方針	３　快適に暮らせる安全な社会をつくる
政策	８　安全・安心に暮らせる環境の充実
施策	㉒　防災・感染症対策の充実 ㉓　防犯・交通安全の向上 ㉔　市民相談・消費者保護の充実

未来の加西の姿

地域と連携・協働した支援体制の構築と強化で、安全・安心に暮らせるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（１次評価）	審議会による外部評価（２次評価）
㉒ (ア～ウ) 評価シート 81~84	■個別避難計画・防災啓発 要支援者名簿を更新し、自治会やケアマネ等と連携して個別避難計画を作成した。防災訓練でライフナビを活用し普及を進めたほか、R7年度ハザードマップを全戸配布し、防災意識の向上を図った。 ■自主防災組織支援・地域防災力向上 資機材整備費補助44町、訓練補助20町を実施し、土のう作り訓練には延べ31町が参加した。図上訓練や防災研修も社協と連携して各校区で実施し、地域防災力の強化に寄与した。今後も自主防災組織への支援を継続する。	■避難計画・ハザードマップ整備 災害時の円滑な移動に向けた身近な公民館の一次避難所としての活用や、実動的な個別避難計画の策定に向けた各町ごとの連携体制を推進していただきたい。 ■自主防災組織への支援・訓練の実施 消防団の高齢化や担い手不足への対策、および南海トラフ地震等を想定した高齢者主体の互助訓練を通じた住民の危機意識の醸成について検討していただきたい。 ■感染症病床数 6床の維持が困難な状況下での平時からの予防医療の推進、および他機関病院との広域連携等の明確な応援体制が重要になってくる。感染症病床を稼働できる対応力の確保等を数値目標とすることも考えられる。
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価　B…ほぼ目標を達成
㉓ (ア～イ) 評価シート 85~87	■主要道路への防犯灯設置と夜間環境整備 安全安心なまちづくりに向け、市道古坂高室線にLED防犯灯を16基、主要道路の照明器具台数は累計91灯を設置した。しかし、目標としていた、防犯灯の年間25基、照明器具の累計150灯には届かなかった。 ■自転車保険加入義務化への対応 安心・安全な自転車利用を促進するため、中学生885名を対象に自転車保険加入事業を実施し、交通安全教室や体験型訓練を通じて安全意識を高めた。交通安全イベントや通学路点検も行い、学校・地域と連携した総合的な交通安全対策が進展した。	
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価　B…ほぼ目標を達成
㉔ (ア～イ) 評価シート 88~89	■法律・生活トラブル相談対応 土地や相続など多様な相談に寄り添い対応し、弁護士相談にオンライン枠を新設することで相談体制を拡充した。対面・オンライン双方で利用しやすい環境を整え、より幅広い相談ニーズに応える仕組みづくりが進展した。 ■消費者被害防止・啓発活動の評価検証 落語を用いた講座など参加しやすい手法により受講者が約4倍に増加し、新たな層への啓発が進んだ。防災アプリや公式LINEで最新事例を発信し、継続的な注意喚起を強化したことで、市民の自己解決力向上と被害防止に寄与した。	■市民相談事業 土地境界等のプライベートな住民トラブルなど、現在、地元の区長が介入せざるを得ない状態であり負担が大きい。行政の専門窓口へスムーズに繋ぎ区長をサポートする仕組みを検討していただきたい。 ■市民相談事業 後期高齢者になる前に「終活セミナー」等の早期啓発活動の実施や、若年期での被害を防ぐ「小中学生への経済・消費者教育」など、対象に合わせた効果的な手法を検討していただきたい。
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価　B…ほぼ目標を達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
防災訓練・研修回数	目標		—	—	—	—	75	回	単年
	実績	57	55	56	72	69	76		
	達成度		73.3%	74.7%	96.0%	92%	101%		
※自主防災組織（自治会）の延べ年間実施回数									
交通事故発生件数	目標		—	—	—	—	1,300	件	単年 減少指標
	実績	1,466	1,262	1,272	1,214	1,257	1,301		
	達成度		102.9%	102.2%	106.6%	103.3%	99.9%		
※ 1/1 ～ 12/31 の交通事故件数									

担当部会３

基本方針・政策・施策

基本方針	3　快適に暮らせる安全な社会をつくる
政策	9　快適な都市空間の創出
施策	㉕　住環境の整備 ㉖　地球に優しい環境都市の創造

未来の加西の姿

良好な住環境や景観等が整い、加西らしいまち並みが形成されたまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（１次評価）	審議会による外部評価（２次評価）
㉕ (ア～オ) 評価シート 90~96	■大規模未利用地・住宅地整備 東南の大規模未利用地は、事業者による地権者交渉が合意に至らず、次年度以降に計画変更を含め再検討する必要がある。西高室土地区画整理事業はほぼ完売し、今後の新たな住宅用地の確保と整備が喫緊の課題となっている。 ■区域区分廃止・学校跡地活用 区域区分廃止に向け、R8年4月1日の決定に必要な審議会答申や条例制定など一連の手続きを完了した。学校跡地活用では事例調査と地域・企業との意見交換を重ね、西在田小学校については活用構想の取りまとめを進めるなど具体化を図った。	
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価
㉖ (ア～ウ) 評価シート 97~100	■脱炭素化支援・資源循環 蓄電池・EV補助や既存住宅の脱炭素化支援、太陽光整備を継続実施した。温室効果ガス排出量は4.7%増であり、再エネ導入や省エネ促進を継続する。リサイクル率向上へプラ資源の分別収集を検討する。 ■生物多様性保全・普及啓発 「人と自然の博物館」ツアーを実施し、網引湿原の木道改修を行った。生態調査では生物多様性レポートを発信し、玉野町の蓮池等の啓発を実施した。 ■環境学習・地域連携教育 小学校で農業体験や自然観察が定着し、全児童が網引湿原で希少水生物植物の生態に触れている。中学校でも授業や体験活動でSDGsの視点を取り入れ、地域と連携した環境学習を取り組んだ。	
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
住宅の新築件数	目標		—	—	—	—	90	件	単年
	実績	115	95	106	86	57	56		
	達成度		106%	118%	96%	63%	62%		
※市内の一戸建て住宅の単年度の新築件数									
市民一人あたり1 日のごみ排出量	目標		—	—	—	—	766	g	単年 減少指標
	実績	793	811	828	840	808	799		
	達成度		94.1%	91.9%	90.3%	94.5%	95.7%		
※（ごみの処理量+ 集団回収量）÷ 9 月末人口÷年間日数									

担当部会３

基本方針・政策・施策

基本方針	３　快適に暮らせる安全な社会をつくる
政策	10　安全性と利便性が確保された都市基盤の整備
施策	㉗　道路・河川の整備・維持管理 ㉘　上下水道の整備・維持管理 ㉙　公共交通の充実

未来の加西の姿

暮らしの中で快適さを感じることができる生活環境が整ったまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（１次評価）	審議会による外部評価（２次評価）
㉗ （ア～ウ） 評価シート 101~103	■道路維持管理・修繕 市道修繕128件を発注し、草刈り補助事業125町を実施した。整備延長は目標を下回ったが、老朽化や修繕要望の増加に対し、優先順位を明確化し計画的な維持管理を進めた。 ■橋梁・河川施設の安全確保 橋梁点検50か所を実施し、1橋の補修をNEXCOへ委託しR8年度完了予定。佐谷川護岸修繕も行い、安全確保に向け計画的な対応を継続している。 ■都市公園の安全管理・利便性向上 指定管理者と連携し、公園の安全管理を実施。屋外照明設置や遊具修繕、バスケットゴール等の整備で満足度向上を図った。一般公園でも草刈り・清掃を行い景観と安全性を確保した。	
	総合評価　A…目標を大きく上回って達成	総合評価
㉘ （ア～イ） 評価シート 104~105	■水道料金・水洗化促進 市川町からの受水がR7年度末で終了し、R8年度以降は安価な県水へ全面切替となる見込みである。水洗化促進補助金により10戸が新たに水洗化を実施し、生活環境の改善を進めた。 ■水道管耐震化・下水道整備 計画に基づき、寺山配水池幹線の耐震管布設工事を実施した。下水統廃合では剣坂地区の公共下水道接続工事を進め、施設更新と機能強化を図った。	
	総合評価　C…目標をやや下回って達成	総合評価
㉙ （ア～ウ） 評価シート 106~108	■公共交通の利便性向上・利用促進 公共交通総合HPに経路検索機能を実装により利便性を向上させるとともに、小学校2年生に「おえかきバス」等の体験事業を実施し、若年層へのコミバスの利用促進を図った。 ■鉄道運行支援・安全輸送体制の強化 北条鉄道のICカード導入や倒木被害等に対して支援するとともに、資金貸付や運営費補助で安定運行を確保し、鉄道の安全輸送体制を強化した。 ■地域主体型交通の運行支援・安全確保 ３地区での運行を支援し、安全に運行を続けるために既存運転手への安全運転講習や認知機能チェック講座を実施した。交通シンポジウムを開催し、住民理解を深める取組を進めた。	
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
道路改良率	目標		—	—	—	—	34.8	%	単年
	実績	34.1	34.6	34.6	34.6	35.7	36.0		
	達成度		99.4%	99.4%	99.4%	103%	103%		
※規格改良済延長÷実道路延長									
鉄道・コミュニティバス等の利用者数	目標		—	—	—	—	420.0	千人	単年
	実績	365.5	365.4	408.5	418.9	422.8	420.3		
	達成度		87.0%	97.3%	99.7%	100.7%	100.1%		
※北条鉄道、ねっぴ～バス、コミュニティバス（はっぴーバス）、地域主体型交通の年間利用者合計数 ※神姫バス、高速バス、タクシーは除く									

基本方針・政策・施策

担当部会３

基本方針	４　ともに活躍しまちの魅力を高める
政策	11　協創のまちづくりの推進
施策	㉚　協創のまちづくり ㉛　シティプロモーションの推進 ㉜　広報・広聴の充実

未来の加西の姿

加西に関わる誰もが主役となって活躍し、元気なにぎわいあるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（１次評価）	審議会による外部評価（２次評価）
㉚ （ア～ウ） 評価シート 109~111	■地域づくり戦略と計画策定 地域づくり戦略会議を開催し、課題検証や支援制度を議論した。集落支援員を2地区に配置し、また、2地区で計画策定が進行している。 ■市民活動支援と運営体制の強化 ねひめホール運営会議を毎月開催し、市民の声を反映した運営を進めた。登録団体数は横ばいだが安定的に活動しており、支援メニューの周知強化を次期課題として取り組みに位置付けた。 ■関係人口拡大とシティプロモーション ユニテへの委託終了後も当該団体は自走により関係人口を増やしている。都市部での広告配信や相談会参加を通じて加西市の魅力を発信し、関係人口の拡大につながる取組を進めた。	■ふるさと創造会議への支援 ふるさと創造会議の高齢化や役員固定化により市民の関心が低下していることを踏まえ、小学校等と創造会議の類似イベントを統合させ、地域組織の再編やスリム化による担い手の負担軽減の仕組みづくりを検討していただきたい。 ■市民活動団体・講座への支援 登録団体数の減少傾向を踏まえ、地域交流センター等の支援メニューを広く市民活動家に周知し、新たな活動団体の加入促進や多世代が主体的・継続的に参画できる環境整備を推進していただきたい。
	総合評価　C…目標をやや下回って達成	総合評価　C…目標をやや下回って達成
㉛ （ア～ウ） 評価シート 112~114	■シティプロモーションと情報発信強化 農業の魅力を伝えるシンポジウムの情報発信に対して補助を行った。次年度は、ふるさと納税の推進事業と連動した新たなシティプロモーション冊子の改訂・製作に着手し、加西市の魅力発信の向上を図る。 ■ふるさと納税推進と都市部への発信 返礼品のラインナップ拡充により寄付受入を確保した。移住相談会への参加や動画広告の配信を通じて都市部へ加西市をPRし、イメージ向上につながる取組を進めた。 ■観光情報発信と来訪環境の整備 「かさい観光ナビ」でイベントや特産品情報を発信し、観光協会LINEでイベント募集を行った。デジタルマップ導入により観光資源に触れやすい環境を整え、来訪者の利便性向上を図った。	■シティプロモーションと情報発信強化 加西市は過去100年間大きな風水害等のない安全なまちという独自の強みをがある。移住定住を促す売り文句としてPRする方法を検討していただきたい。 ■観光情報の発信と来訪環境整備 特産品のブランディングを強化するとともに、市観光課と観光協会の広報の重複を排除し、効果的な情報発信を推進していただきたい。
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価　B…ほぼ目標を達成
㉜ （ア～ウ） 評価シート 115~117	■広報活動の充実と市民周知の強化 定例記者懇談会を12回開催し、324件のプレスリリースを発信した。広報紙では季節感のある表紙写真で魅力を伝え、スポーツ少年団の連載継続により多くの市民に読まれるための工夫と周知を効果的に展開した。 ■デジタル媒体の品質向上と情報発信 ホームページの運用は異動によるルール遵守に課題があり、研修等で品質向上を図った。公式LINEは過度な通知を防ぐため配信を週1回に集約し、市民が見やすい環境に配慮しながら市政情報の共有を推進した。 ■広聴活動の充実と市民意見の反映 市内各所でのタウンミーティング開催により、予算や学校跡地活用等の地域課題を集約した。要望書や市長への手紙など多くの意見を関係部署と共有・対応し、匿名以外の市長への手紙には全て回答の上ホームページで公表するなど、広聴の透明性を高めた。	■マスメディア・広報誌の展開 広報に以前掲載されていたキラリびと」のような地域住民にフォーカスした魅力的な独自企画の充実や、広報紙に対する市民のレスポンスを取り入れて評価する手法や、要望書とその回答を合わせた市民の意見の公開など、双方向な紙面づくりにも工夫をお願いする。 ■CMSによるホームページの運用 高齢者主体の会議などではタブレット端末等の操作に議論が追いつかず滞る実態があることから、デジタル化の推進と紙媒体の適切な活用とのバランス確保を検討していただきたい。 ■要望書等による市民ニーズの把握 タウンミーティング等の活動を単なる実施回数や回答率の数値で捉えるのではなく、本来の目的である「協創」のために、市民と行政が何を役割分担し、何を作り上げたかという実質的成果を評価する指標を取り込んでいただきたい。
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価　B…ほぼ目標を達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
まちづくり計画の策定数	目標		—	—	—	—	7	計画	累計
	実績	4	5	5	5	6	6		
	達成度		71%	71%	71%	86%	86%		
※ふるさと創造会議（10 地区）におけるまちづくり計画の策定数									
	目標								
	実績								
	達成度								

基本方針・政策・施策

担当部会１

基本方針	４　ともに活躍しまちの魅力を高める
政策	12　お互いを認め、尊重し合える社会の実現
施策	㉝　自分らしく暮らせる地域づくりの推進 ㉞　男女共同参画の推進 ㉟　多文化共生と平和のまちの実現

未来の加西の姿

多様な価値観やお互いを認め合い、すべての市民が協力できるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（１次評価）	審議会による外部評価（２次評価）
㉝ (ア～ウ) 評価シート 118～121	■人権意識の高揚と学習機会の充実 市民のつどいは701名が参加し、94%の理解度を達成した。映画会等の自主参加型や講師派遣型学習会も近年で最多の参加者を記録し、市民の人権意識の高揚を効果的に図ることができた。 ■相談支援体制の強化と相談対応の充実 DV・こども家庭センターの専門職等の増員により、体制を従来の2名から6名へと大幅に強化した。これにより、定期訪問や継続的な相談対応が可能となり、トラブルの早期発見・予防支援の実現している。 ■障害者相談支援・成年後見支援センターの運営 基幹相談支援センターの委託により困難ケースへの対応が進み、相談件数は増加している。成年後見支援センター設立後も相談が増えており、専門職の巡回相談や制度啓発、勉強会の開催を通じて関係者への理解促進に取り組んでいる。	■まちかどフォーラム・シアターの開催形式の選択 人権推進における参加者数が年々増加していおり評価する。 一方で、現在は市から開催形式を指定して実施されているが、各地区の実情やニーズに応じて「フォーラム形式」または「シアター形式」を可変的に選択できる運用を求める。 ■障害者相談支援・成年後見支援センターにおける相談 相談件数の増加や内容の多様化に対し、基幹相談支援センターを中心に市と連携しながら多くの困難ケースに対応しており、事業の充実が図られている点を高く評価し、評価区分を「Ｃ」から「Ｂ」へ変更する。 なお、相談業務は対応の多寡のみで質を測ることが難しいため、今後は件数という客観的数値にとどまらず、相談者の「満足度」など質の高さを捉える指標を検討してはどうか。
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価　A…目標を大きく上回って達成
㉞ (ア～イ) 評価シート 122～123	■女性リーダーの育成と地域登用の推進 ウィメンズネット加西塾を通じて、女性リーダーが交流会で活躍するなど実践的な育成が進んだ。また、助成金事業により女性役員の登用自治会が16.3%まで拡大した。 ■女性の就労支援と雇用対策の推進 兵庫労働局との協定による就職支援に加え、明治安田生命保険相互会社との包括連携により女性向け就職セミナーを実施したほか、プチ起業セミナーを開催し、就労促進を多角的に図った。また、女性活躍関連セミナー参加者数が5名増加となった。	■　女性管理職登用 女性登用率は官公庁で33%、民間企業で10.8%となっており、製造業を中心とした本市の産業背景から、民間での伸び率が低迷していると分析されている。一方で、自治会役員への女性登用に対して市が支援を行っている点を評価し、今後も引き続き、地域全体で女性が活躍できるまちづくりが推進されることを期待します。
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価　B…ほぼ目標を達成
㉟ (ア～ウ) 評価シート 124～126	■多文化共生と国際交流の推進 グローバルセンターの開設により多言語相談や学習支援が充実し、医療通訳の利用も大きく進んだ。ボランティア育成や学校でのやさしい日本語教室、職員研修も実施した。今後も新センターを核とし、国籍を問わない地域交流と情報発信のさらなる強化を図る。 ■soraかさいの活性化と平和学習の推進 「soraかさい」において、マルシェのほか大規模複合イベントを開催し、地域の活性化を創出した。また、グリーンスローモビリティによるツアーや、デジタルコンテンツを活用した営業を積極的に展開し、同施設を中心とした平和学習の場を効果的に提供した。	■グローバルセンターの運営と情報発信 グローバルセンターの開設により利便性や認知度が高まっている点を評価します。今後は、日本人住民への情報発信の強化が課題となるため、市や地域と国際交流協会が連携を深め、情報がより届きやすい発信方法や内容の工夫をお願いする。 ■外国人の医療通訳体制の整備 市立加西病院における医療通訳支援体制の充実を評価する。一方で、民間医療機関での言語対応には不安の声もあるため、外国人が市内のどこでも安心して受診できるよう、多様な医療機関における言語サポート体制の拡充をご検討いただきたい。
	総合評価　A…目標を大きく上回って達成	総合評価　A…目標を大きく上回って達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
人権研修の参加者数	目標		—	—	—	—	3,500	人	単年
	実績	3,398	2,074	2,272	2,298	3,106	3,186		
	達成度		59.3%	64.9%	65.7%	88.7%	91.0%		
※加西市が実施する人権研修会の参加者数									
女性管理職の登用率	目標		—	—	—	—	20.0	%	単年
	実績	15.2	13.3	11.8	10.7	14.2	13.6		
	達成度		66.5%	59.0%	53.5%	71.0%	68.0%		
※加西市役所、市立こども園、市立加西病院、市立小・中・特別支援学校、市内企業の女性管理職の割合									

担当部会２

基本方針・政策・施策

基本方針	４　ともに活躍しまちの魅力を高める
政策	13　効率的で持続可能な行財政の推進
施策	㊱　行財政運営の効率化 ㊲　ＩＣＴの利活用の推進 ㊳　広域連携と公民連携の推進

未来の加西の姿

計画的な行財政運営と人材の資質向上により、質の高いサービスを提供できるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（１次評価）	審議会による外部評価（２次評価）
㊱ (ア～オ) 評価シート 127~131	■職員の資質向上と研修の推進 播磨内陸広域行政協議会や兵庫県自治研修所など、広域的な研修に計124名の職員が参加した。外部機関との連携による研修への参加を促すことで、専門知識の習得や広域的な視野を持った職員の育成に努める。 ■行財政改革の推進と財政基盤の安定 庁舎増築や学校再編等の大型事業が本格化する中、事業見直しや予算配当制などの行財政改革を徹底した。歳出抑制に努めた結果、財政調整基金を取り崩すことなく一定額以上を維持・確保でき、規律ある予算執行による健全な財政運営を推進した。 ■市税等の徴収体制と収納率の確保 物価上昇等の家計状況の影響により過年分の収納率は前年比で2.7ポイント減少し、目標を1.6ポイント下回った。納付交渉や分納誓約による催告を進めたものの、収納率の伸び悩みがみられ、税の公平性を保つための厳格な徴収業務に努める。	
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価
㊲ (ア～イ) 評価シート 132~134	■生成AIの活用とペーパーレス化の推進 生成AIの発展に伴いガイドライン改定と研修を実施し、全庁的なスキル向上と業務効率化を推進した。また、公文書管理システムの運用や議会資料の完全ペーパーレス化を行ったことで、コピー使用枚数の削減など事務のデジタル化と省資源化を着実に進めた。 ■窓口業務のデジタル化と利便性向上 自動交付機を廃止しコンビニ交付へ移行したほか、スマートフォンによるマイナンバーカード認証に対応した住民票等のオンライン申請を導入した。これにより、市民が市役所へ来庁することなく各種手続きを完結できるデジタル環境の整備を大きく前進させた。	
	総合評価　B…ほぼ目標を達成	総合評価
㊳ (ア～イ) 評価シート 135~137	■包括連携協定の締結と地域課題の解決 新たにイオン（株）や明治安田生命、伊東電機（株）の3社と包括連携協定を締結し、累計協定数は22件に達した。熱中症対策としてのクーリングシェルター設置、スポーツ振興、農産業の課題解決など、企業の強みを活かした地域活性化を図った。 ■SDGsパートナー登録と普及啓発の推進 「SDGsパートナー登録制度」により累計75事業者の登録となった。ポータルサイト等での情報発信に加え、7月にはパートナー企業が主体となった体験型イベント「SDGsフェスタ」を開催し、市民への普及啓発を促進した。 ■産学官金・地域連携による農業振興 大学や高校、JAと連携した地産地消の給食提供や、小学生向けの農業体験を実施した。県技術センターとの新ブランド「ひかり姫」の実証や大学協力など、多角的な連携で技術向上と生産基盤の強化を図った。	
	総合評価　A…目標を大きく上回って達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
経常収支比率	目標		—	—	—	—	92.4	%	単年減少指標
	実績	93.8	90.4	94.9	96.8	95.7	93.5		
	達成度		102%	97%	95%	96%	99%		
※人件費、扶助費、公債費等の経常的な経費に対し、地方税、地方交付税、地方譲与税等の経常的な収入が充当されている比率									
地方債残高	目標		—	—	—	—	426	億円	単年減少指標
	実績	411	394	372	356	344	349		
	達成度		107.5%	112.7%	116.4%	80.8%	81.9%		
※一般会計・特別会計・企業会計の全ての市債の残高									